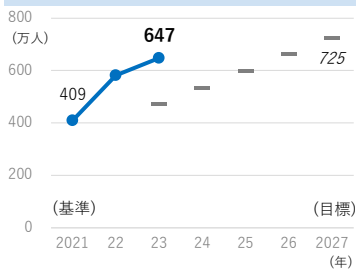


1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり



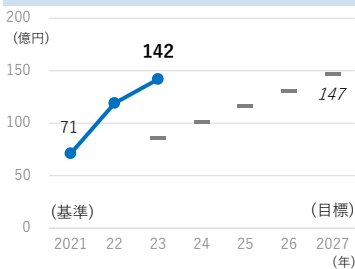
観光地延利用者数



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

A

観光地消費額



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

A

【取組の成果・課題と今後の方向性】

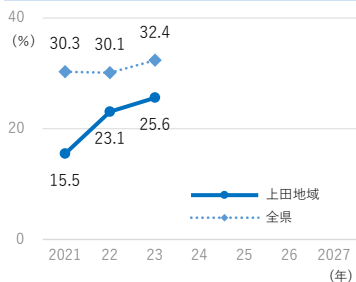
〔地域と一体となった観光需要の回復〕

- 観光地延利用者数及び観光地消費額は、新型コロナの5類移行や円安によるインバウンド需要の高まり等により、コロナ禍前の水準に回復しつつある。
- 関越自動車道・上里サービスエリア、銀座NAGANO等で、市町村や観光協会等とともに観光キャンペーンを開催し、観光地や特産品等のPRを実施した。
- 地域の観光資源を活用した広域的な観光誘客のため、上小地域観光戦略会議を開催したほか、新たに設置した「上田地域食材活用分科会」と「サイクルツーリズム分科会」にて関係者との意見交換を実施した。
- 上田市稲倉の棚田の保全活動促進のため、棚田米・酒米オーナー制度（参加者175組）や県内外の小中学生の農業体験（参加者262人）等、参加型イベントの開催を支援した。
- 今後も、市町村や観光協会等と連携した観光キャンペーンや、インバウンドを取り扱う旅行会社を対象としたモニターツアー等を実施する。

〔観光地の魅力を高めるインフラの整備〕

- 湯の丸高地トレーニング施設へのアクセス道路や、菅平高原のランニングコースを兼ねた歩道等の整備を進めた。

（参考）観光地延利用者に占める宿泊者の割合



出典：観光地利用者統計調査（観光スポーツ部）

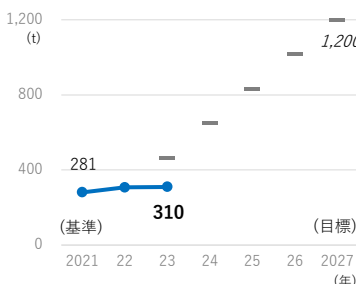


銀座NAGANOにおける観光キャンペーン（上田地域）

2 地域を支える産業のグレードアップ



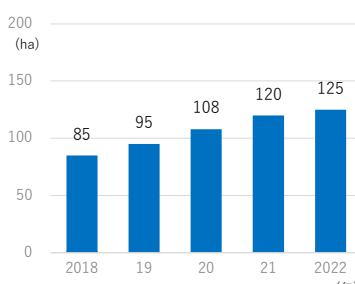
醸造用ぶどう収穫量



出典：特産果樹生産動態等調査（農林水産省）

C

（参考）醸造用ぶどう栽培面積



出典：特産果樹生産動態等調査（農林水産省）

【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔持続可能な産業の実現に向けた取組〕

- 半導体需要の高まりなどにより、製造品出荷額等の増加が見込まれる。地域企業による、今後成長が期待される産業分野への展開や、生産性向上の取組への支援により、高付加価値産業を育成していく。
- 地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域事業者には相当の経済的効果がある地域経済牽引事業者を支援するため、第2期長野県上田地域基本計画を策定。課題である産業用地の確保について市町村と情報共有し、事業者のニーズに応じた産業用地の整備等を図る。

〔世界基準を見据えたワイン産地づくり〕

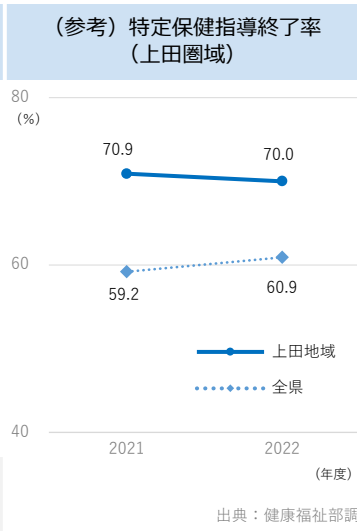
- 醸造用ぶどうは、新植により栽培面積が拡大し、今後の収穫量増加が見込まれるが、結果樹となるまでは5年程度要することから支援を継続していく。
- 醸造用ぶどう生産者等対象の生産者技術セミナーを開催した。管内新規参入者の多くは栽培技術向上の余地があるため、引き続き生産者技術セミナーにより技術習得を支援していく。



荒廃農地を再生して整備した醸造用ぶどう畑（東御市祢津御堂）

※製造品出荷額等については、出典統計の違いにより基準値からの成長率が算定できないことから、中間評価では前年比成長率と年間成長率の目安（国の経済成長率等から算出）との比較により判定する。ただし、1年目については成長率算定に必要な2か年分の値が判明しないため進捗判定なし。

3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり



【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔道路網の整備、地域公共交通の充実、防災・減災の推進〕

- ▶ 国道143号バイパス(青木峠トンネル)整備に向け、道路詳細設計、用地測量等を推進したほか、優先度の高い管内10箇所ではため池の耐震・豪雨対策を実施

〔医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援〕

- ▶ 地域の健康づくり、生活習慣病予防推進のため、保健師・管理栄養士等を対象に研修会を開催し職員資質の向上を図った。また、地域の運動教室等に対し講師派遣等の支援を実施した。

〔移住の促進、つながり人口の創出・拡大〕

- ▶ 長和町におけるつながり人口の創出・拡大のため、和田宿と周辺の空き家を活用し、空き家DIYイベント(延参加者40人)及びマーケットイベント(参加者約1,000人)を実施した。
- ▶ 上田地域への移住者数は、コロナ禍での地方移住への関心の高まりで2020年度から大幅に増加していたが、2023年度はやや減少。新型コロナウイルスの5類移行により一段落したためと考えられるが、引き続き移住先として選ばれるよう取組を進めていく。

D

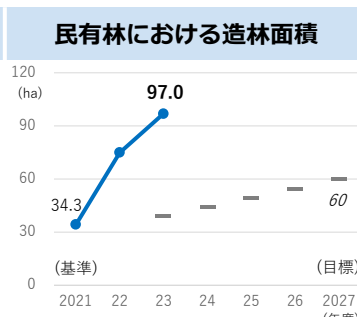
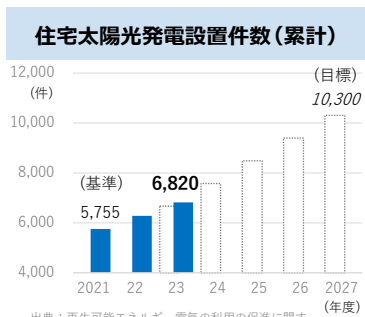


和田宿の空き家等を活用したイベント



防災工事等を実施したため池(上田市西塩田地区 不動池)

4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり

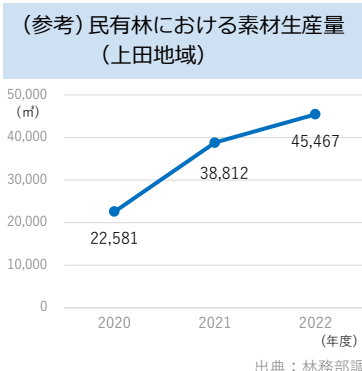


【取組の成果・課題と今後の方向性】

〔持続可能な脱炭素社会に向けた取組の推進〕

- ▶ 市町村や関係団体と連携し、温暖化対策に有効な断熱をテーマにした講演会(参加者64人)及び内窓設置DIYワークショップ(参加者30人)を実施。また、上田市のシェアサイクル事業を元気づくり支援金により支援し、自家用車に頼らないコンパクトなまちづくりを推進した。
- ▶ 住宅太陽光発電設置件数は、県内有数の日照率の高さなどを背景に順調に推移している。今後も住民等が自分ごととして積極的にゼロカーボンに向けた取組を進められるよう支援を継続していく。
- ▶ 地域の森林認証材等の利用促進のため、市町村・企業等と連携した「にぎやかな森プロジェクト」において上田地域の林業活動がもたらす影響の調査とその見える化を図るとともに、地域企業や林業関係者等へ成果の普及啓発を行った。
- ▶ 民有林における造林面積は、安定した木材価格の維持や県の補助制度の充実などにより順調に増加している。今後も持続的な森林経営の支援に努めていく。

A



UE森(うえもり)2023
～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～
(190人が参加しカラマツ2,300本を植樹)